



第13号
令和4年11月11日
文責：永原 益穂

学年弁論を行いました!!

11月4日（金）の6限に、学年弁論を行いました。弁論のテーマは、自分の経験したことを通して学んだことや弁論そのものを問いかける内容など、様々でした。ステージの上での発表は緊張しながらも、クラス代表としてしっかりと思いを伝えることができていました。また、発表を聞く態度も誰もが真剣で、話し手の言葉を一言一句聞き漏らすまいとしている様子が印象的でした。「言葉」というのは、これほど人に影響を与える力を持っているものだということを再認識できた時間でした。



【A組】「クラーク 有蓮」
『日本で暮らすハーフ
が言いたいこと』



【B組】「石川 恵」
『弁論とは何か』



【C組】「松本 崇利」
『1日24時間』



【D組】「宮城 華子」
『文字に思いをのせる』

感想をいくつか紹介します。

相手の伝えたいことを論調や、それぞれの表情、又 何より深く感じることでできました。それぞれが、実体験をもとに弁論をつくり上げ、聞いている私たちをその人の世界に引きこませるように生き生きと発表していました。みんなの拍手から自分と同じ気持ちの人もいると思えたので、聞きたかったことも良かったと思います。

いい弁論がたくさんでした。自分の伝えたいことを、しっかり伝えられてよかったです。始まり方にも工夫があってよかったです。インパクトに残せるような弁論が多かったです。表現の仕方もういろいろあってよかったです。

4人とも具体例を出しながら、堂々と発表していてよかったです。声が、広い場所でもしっかりと届き、笑いもいれながら楽しく発表してくれて良かったです。

裏にも感想があります。

4人の弁論、とてもすばらしかったです。
自分の思ったことや体験したことを弁論としてまとめていて、学級のととはまた違う、
すてきな弁論大会だったなと思いました。感情がこもっている人も多く、伝えたいことがはまりと伝わってきました。

私は、みんなが、自分の言いたいことを堂々と話せることがすごいと思いました。
話し方に強弱があったりする人は、自分の伝えたいことが、より伝わりやすくなっている
な、と感じました。また次の機会があったら今日の4人のような話し方ができるように
頑張りたいです。

学級弁論大会のときよりも内容や話し方のレベルが全然
違いました。4人の弁論はとても良かったです。

4人ともそれぞれのテーマで自分の思いを感情ゆたかに語っていてすごい
と思います。本文だけではなく「あいさつ」「姿勢」も堂々と背すいをはきしていたの
で素晴らしい弁論家ということが一目で分かりました。自分の思いを人前で
発表するのは勇気がいるけれど、とても素晴らしいことなんだなと思いました。

言えることとか、言え方とか、4人それぞれの個性が出ていて
良いと思った。また、発表の仕方も堂々としていてたくさん練習
してあるかなと思った。また聞く役も一生懸命できていてよかった。

4人ともが堂々と発表していて、すごいと思いました。
人の声や、経験などを具体的に表していて、分かりやすかったです。
論調がすごく工夫されていて、聞きやすい、です。
私も4人の人のように様々な工夫をして聞く人を納得させる弁論が
できるように頑張ります。

自分の経験や思いを言葉にする事は難しいけど、代表者4人はそれがとても上手
でした。私も共感できる所が多くあり、人の話をよく聞く大切さが分かりました。
おもしろさや、自分の思いを届けようという気持ちが含まれた自分にはない感性
がとても良かったと思いました。

4人とも、ただ読むだけでなく、聞き手を引きつけるような
工夫があったので、すごいです。はきはきと大きな声で
発表していたのも良かったです。僕も、こんな風に発表ができればいいな
と思いました。

弁士は自分の（番）伝えたいことを強調したり、ゆっくり言ったりして、聞いていて、
伝わりやすい弁論家だと思いました。また、どの弁士も聞き手の目を見て
話していて、自分の思っている気持ちを伝えたいという思いが伝わりました。